



玉島っ子だより

第6号 令和5年7月5日

文責：校長 松尾 信広

【学校教育目標】 **たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成**

唐津市教育の日に授業参観・青少年育成大会を行いました！

去る6月11日（日）の唐津教育の日に、授業参観を行いましたところ、多くの保護者やご家族、また地域の方々にご来校いただき、誠にありがとうございました。この日の授業は、多くの学級で「道徳」を行いました。その学年に応じて具体的な場面を設定し、解決に向かうためにはどう考えどう行動すればいいのかを話し合いながら深めていきました。



また、午後からは浜玉中を会場に「浜玉町青少年育成大会」が行われ、6年生が参加しました。その中で行われた意見発表を〇〇〇〇さんが、講演の中でのクロストークを〇〇〇〇さんが行ってくれました。大衆の前でも、前を向いてしっかり自分の言葉を発している2人を心から頼もしく思いました。裏面には、意見発表の原稿を記載していますので、〇〇さんの思いや玉島小運動会の良さを感じていただければと思います。



6月の行事にも玉島っ子は元気いっぱいに取り組みました！

運動会の翌日の5月29日に梅雨入りして（ぎりぎりでした！）早くも1か月が経ちました。雨の日はもうしばらく続きそうですが、子ども達はそんなじめじめとした中でも、学年・学校行事に元気いっぱい取り組んでくれました。



主なもので言いますと、6月5日は3～6年生を対象に「ブラッシング教室」を行いました。学校歯科医の先生や指導して下さる先生方に来ていただき、効果的な歯磨き等について教えていただきました。ちなみに、口を閉じているとき、舌先は上の前歯の付け根あたりにあるといいそうです。7・9日は「プール掃除」を行いました。

1日目は主にプールの外回りを、2日目はプールの中を掃除して水泳学習の準備を行いました。私が見る限りさぼる人はひとりもなく、玉島っ子のまじめさと一生懸命さに感心しました。

14～20日は「たまとしょまつり（図書館祭り）」を行いました。図書委員さんを中心に、POP展（その本の良さを説明するカード）を開いたり、クイズやイベントを行ったりして、



多くの人を楽しめる本の世界に引き込んでくれました。また、16日は「平原小合同4年生社会科見学」、22・23日は「平原小合同5年生宿泊学習」を行うなど、平原小学校との交流も盛んに行いました。特

に、宿泊学習では、ひとつ屋根の下で協力し合いながら生活をし、学校とは全く違った環境でいろいろな経験を積むことができました。



全校朝会でブックトークをやってみました！

昨日の全校朝会で、読んだ本の良さを紹介する「ブックトーク」を、校長の話の中でやってみました。今回は、「人生はワンチャンス！— 仕事も遊びも楽しくなる65の方法」という本を通して、「言葉」がもつ「人を励ます力」について話をしました。自分の中にある温かい言葉の葉っぱたちを大きく育ててほしいと伝えました。そして、その言葉たちで周りの人たちを励ましていける人になってほしいと思います。ちなみにその本は、誰かがすぐに図書室で借りてくれたそうです。(^^)/

表面で紹介しました、意見発表の原稿です。いろいろな思いで運動会に挑戦し、見事に大成功させたその姿に、改めて感動しました。是非ご一読ください。

【6・11唐津教育の日・浜玉町青少年育成大会の意見発表】

「運動会で学んだこと」 玉島小学校6年 ○○ ○○

5月28日、玉島小学校で運動会を行いました。今年の運動会は、新型コロナウイルスによる制限が解けて、初めての運動会でした。小学生や中学生、そして大人の人たちも混じった地区リレー、祖父母や地域の人が自由に参加できる玉入れなどもありました。みんなが笑顔でとても楽しい運動会を、6年生の大切な仲間と協力し、成功させることができとてもうれしかったです。この運動会を通して学んだことが二つあります。

1つ目は、いろいろな人の個性が合わさったからこそ、こんなに良い運動会ができたということです。僕たち6年生は、運動会に関わる3つの仕事を担当することになり、その中のひとつに、親子競技係がありました。仕事の内容は、親子で楽しめる競技の中身を考え、必要な道具を作ることです。その係の人たちは、玉島の特産物であるねぎや、アユなどを使った競技を考えてくれました。そこには、考えを出すのが得意な人もいれば、工作が得意な人もいます。この親子競技は、いろいろな人の得意なことが合わさったからこそ、こんなに良いものができたのだと思います。もし、得意なことが似ている人ばかりの集団だったら、こんなに楽しい親子競技が生まれることはなかったと思います。これは、親子競技だけのことではありません。他の競技や、フラッグなどの演技についても同じことが言えます。踊りの振り付けを考えてくれた先生方や、応援してくださった親や地域の方々、そして運動会と一緒にやりとげた仲間たちの個性や得意なことが合わさって、最高の運動会になったのだと思います。



2つ目は、この運動会を通して僕が成長したと思うことについてです。僕は、赤組の応援団長でした。はじめは、団員にうまく指示ができずに、周りの人に教えてもらいながら、応援練習を進めていました。しかし、指示が上手な人や先生のようにすを見たり、仲間からのアドバイスをもらったりすることで、徐々にできるようになりました。今では、下級生に指示をしたり、教えたりすることに楽しさを感じられるようになりました。努力し、支えられて成長できたのだと思います。

このように、様々な個性が合わさることで、こんなに素晴らしいものができあがるということや、苦手なことでもチャレンジし続けることが大切だということ、この運動会で学びました。僕が大人になったら、たくさんの人と触れ合い、その人の良いところや得意なところを見つけ、それを受け入れながら高め合える人になりたいと思います。そして、どんなに難しそうながことが目の前に現れても、それが自分にとって楽しいことや得意なことにつながって行くと信じて、これからもチャレンジしていきたいです。